

2022年2月 地域ビジネス局 営業部

- 2019年9月からN-PDFの他にPDF-X4データの入稿を開始いたしました。これまでのN-PDFデータと同様に新聞印刷の特性を考慮した制作上の注意点や基本ルールがあります。まず、新聞印刷の特性についてご説明いたします。
- ◆新聞はオフセット輪転機で1時間に約10万部以上の高速ス ピードで黄色味がかったザラ紙に刷り上げます。そのため高 速印刷に対応できるように、インクが早く吸収しやすくなっ ています。それに比べ商業印刷は真っ白な上質紙に時間をか けて刷り上げるため、インキ濃度を上げることができますが、 新聞印刷では、裏写りや対向面への汚れを防ぐため最暗部の インク総量の上限をを250%に設定しています。
- ◆輪転機で高速印刷される紙面は、ゆっくり乾燥させる時間がありません。紙に浸透させて自然に乾燥させるため、新聞印刷のインキは粘度の低いものを使用しています。そのため、印刷時に網点がにじんで広がります。この現象を「ドットゲイン」といいます。弊社では中間調(50%の網点)で約20%の広がりがあります。原稿制作時には中間部分を若干明るくするなど十分考慮してください。
- 次にPDFデータについて説明いたします。
- ◆入稿できるPDFの形式は日本広告業協会が2012年に策定したPDF/X-1a(N-PDF)と、透明効果などに対応したPDF-X4です。
- ◆PDFデータにエラーがあった場合、PDFデータそのものか らの修正はできません。再入稿をしていただきます。
- ◆PDF入稿の対象は中国新聞社の広告システムへの入稿のみで、連合広告などの合体ものや、タブロイドの記事データなど記事サーバーへの登録入稿をするものついては、これまで通りEPSデータでお願いします。
- ◆CS5以上(~CC)のバージョンで作成された原稿はPDF形 式での入稿をお願いします。
- このガイドブックはJAAAの新聞広告デジタル制作ガイド N-PDFver.1.1(2012)をもとに制作しています。スムーズな 広告掲載を行うため、ぜひご活用ください。

ご不明な点は、

中国新聞社地域ビジネス局広告編成チーム ☎ 082(236)2203 メディア中国広告編成部 ☎ 082(297)1366まで

「1] PDF入稿原稿 基本の注意事項 02~ 制作環境 [2] データの制作から入稿までの流れ 04~ [3] デジタル入稿運用規約 06~ [4] デジタル入稿の必須12原則 07~ ◎PDF原稿制作 08~ [5] 原稿の制作 ◎ PDF書出しプリフライトチェック 25~ ◎原稿サイズについて 28~ [6]入稿前の準備 29~ 「7]入稿前の最終チェック 31~ 「8] カラーの事前確認(CMSカラープルーフ) 32~ [9]入稿 33 CAUTION

●このガイドブックはIllustratorCC及びPhotoshopCCをベースに作成しております。 入稿データはIllustrator、Photoshopで作業するようお願いします。

デジタル入稿ガイド

[1]

[1] N-PDF PDF-X4 入稿原稿 基本の注意事項

フォント (P.10) 画像データ (P.16~) ●使用フォントは、必ず**PostScriptフォント**を使用してください。 ●モノクロ広告の場合は**グレースケール**。カラー広告の場合はCMYKを使用してください。 ●原稿データ上のフォントは必ず全てアウトライン化を行ってください。 ●それ以外のカラーモードは使用しないでください。 ●4ポイント以下の文字は使用しないでください。※白抜き明朝体は8ポイント以上 ●解像度は適切な範囲内に設定してください。 ●中間部で約20%発生するドットゲインを考慮してください。 サイズ (P.28) データ保存 (P.26) カラー、モノクロともに規定のサイズで制作してください。 ●掲載データのファイル形式はN-PDFかPDF-X4形式で保存してください。 **色指定**(P.11) ●掲載データをCDの第1階層へ保存してください。 ●書き出したPDFデータは変更を加えないでください。 ●ファイル名規約に従ってファイル名をつけてください。 ●モノクロ広告の場合はグレースケール。カラー広告の場合はCMYKを使用してください。 ●掲載データのファイルサイズは200MB以下としてください。 単色広告 ※4色分解(CMYK) データにて入稿してください。 ●それ以外のカラーモードは使用しないでください。 データチェック (P.26 · 30) ●入稿前に掲載データのチェックを行ってください。 オブジェクト ●フォント、カラー設定などのチェックを行い、デジタル入稿確認書へ記入してください。 ●CDのラベル記入。入稿前に必ずウイルスチェックを行ってください。 ●孤立点やガイドライン、トンボなど、不要なオブジェクトは必ず全て削除してください。 ●0.25ポイント以下の線幅は使用しないでください。 PDF-X4について プリフライト ●PDF-X4形式は透明効果に対応しているので透明効果の分割拡張をする必要がありません。 ●書出したPDFデータは、Acrobat Proで規定のプリフライトプロファイルを ●制作方法としてはN-PDF形式準拠で制作し、分割拡張せずにPDF-X4形式で保存してください。 用いてプリフライトチェックをし、PDFデータに不備のないことを確認してください。 ●PDF-X4形式のPDFはそのままプリントアウトしても分割拡張の境目のムラが出ません。 ・PDF書き出しされたデータはメディアにコピーする前にAcrobat Proで開き、絵柄の確認・プリフライトチェック・UCRの確認をしてプリントアウトしたものを最終の念校ゲラとする。 ここがポ ・CDなどのメディアには入稿用のPDFデータのみでそれ以外のデータ(AIデータや配置画像など)は入れない。 ・原稿サイズとイラストレーターのドキュメントサイズを一致させる。 ・配置画像は原則埋め込み。(リンク配置でもPDF書き出しすると埋め込み画像となるが推奨はしていない)PDF-X4形式は可。 ・透明効果は分割拡張してPDF書き出しする。(N-PDFは透明効果には対応していない)分割拡張前の最終AIデータを保存しておく。(PDF-X4形式は透明効果対応なので分割拡張しない) ・モノクロ原稿はグレースケール以外の色要素があると、エラーとなるので、イラストレーター上で透明効果の分割拡張ののちグレースケールに変換しPDF書き出しする必要がある。 1 (分割拡張のみではCMYKカラーのK版として認識されるため) (PDF-X4形式は必要なし) ・カラー原稿でRGB画像をリンク配置した場合、これまでのEPS入稿ではRGB画像使用としてエラーとなっていた。N-PDFの場合、PDF書き出し中にCMYK変換されてエラーではなくなるが、意図 しない色になる。(PDF-X4形式はRGB画像使用としてエラーが出ます)

[1]

[1] N-PDF PDF-X4 入稿原稿 制作環境

使用システム

●原稿データの制作には、Mac OS Xを使用してください。Mac OS9・Windowsは使用不可。 それぞれのアプリケーションのバージョンに合わせ、推奨されるOSを使用する。

アプリケーション

●Adobe Photoshop CS2以上(N-PDF・PDF-X4)
 Adobe Illustrator CS2以上(N-PDF) Adobe Illustrator CS5以上(PDF-X4) CS4以下は未確認
 Adobe Acrobat Pro 9以上(N-PDF) Adobe Acrobat Pro DC以上(PDF-X4) Adobe Acrobat Pro X以下はプロファイルが取り込めない
 Adobe InDesign CS4以上(Adobe InDesignについてはJAAAの新聞広告デジタル制作ガイドN-PDF ver.1.1(2012)を参考にしてください)
 Adobe Illustrator CS5・CS6・CCについては、原則PDF入稿のみ。
 (一部記事サーバーに入れるもの、連合広告の部品などは除く)

ウィルスチェック

●データに対してウィルスチェックを必ず行い、感染していないか確認する。

ファイル名

●ファイル名の付け方はEPS入稿時と同じように付け、拡張子のみ.pdfにする。



●原稿データの入稿には、CD-R/CD-RWを使用する。 ※MOでの入稿も弊社MOドライブが使用不能になるまでは、受け付けます。(代替えのMOドライブは無し)

[2] データの制作から入稿までの流れ



●入稿締め切りについて

[2] データの制作から入稿までの流れ

本紙 (朝・セレクト) ●モノクロ 掲載日2日前 正午

●**カラー**

掲載日2日前 正午

●単色 ※4色分解(CMYK)データにて入稿してください。
 掲載日2日前正午

●2連版

揭載日2日前 正午

アシタノ ●カラーのみ ※祝日の関係で締め切り日を早めさせていただく場合があります。 発行日の前週金曜日 正午



○締め切り日は掲載日及び印刷日から算出しております。
 ○締め切り日はいずれも土、日、祝日を除きます。
 ○大型連休・年末年始等の長期連休の前には、入稿締め切りを別途ご連絡させていただきます。

[2]

[3] デジタル入稿運用規約

●データ修正・管理

データ修正

●デジタル入稿された原稿データの**訂正、象嵌(ぞうがん)修正は、新聞社では行いません**。 改稿が発生した場合は、データを修正して再度データをお持ちください。

●完全原稿としての入稿に限ります

入稿データに不備があった場合に備え、その広告の制作者がすぐに対応できるようにしておいてください。 入稿された原稿の修正は、新聞社では一切行いません。 掲載データの修正後、再入稿をお願いいたします。

●修正作業につきましては、EPS原稿にかぎり別途有料でご利用いただけます。 PDF原稿からの修正はできません。

※緊急の場合、詳細については、地域ビジネス局営業部までおたずねください。

データ管理

●デジタル入稿された原稿データ(実データ)の在版管理は、新聞社では行いません。
 ●同一原稿掲載の場合でも、掲載ごとに再度データ入稿をお願いします。

※初回掲載のデータ入稿時に同一月内で複数の掲載日が決定している広告の場合、初回データ入稿のみで結構です。 ただし、掲載日ごとに念校ゲラをご用意ください。

●月極(フリー)広告については、初回の入稿のみで構いません。 ※月極(フリー)広告の場合、掲載日は**掲載可能な期間**を念校ゲラに明記してください。

●デジタル入稿された原稿データのメディアは、掲載日以降に返却いたします。

[4] トラブルのないデータ制作、デジタル入稿を行うための必須12原則



[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作時の準備



を選びカラー用モノクロ用それぞれのプリフライトプロファイ

ルを取り込む。

読み込みをクリックし、ダウンロードしたPDFプリセットを読み込む。

[5]

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール

原稿サイズの設定

●今までEPS入稿の場合、仮に5段だとしたら、A3のアートボードの中に5段サイズの原稿を制作していたが、PDF入稿の場合アートボードサイズと 原稿サイズを一致させなければならない。



※1.原稿サイズをアートボードサイズとして設定する 2.裁ち落としを天地左右Ommに設定する 3.カラーモードをCMYKに設定する 4.ラスタライズ効果を高解像度(300ppi)に設定する



5段のアートボードの中に5段の原稿 この状態でPDF書出しすると5段のサ イズとしてPDFが書出される。

Illustrator



A3のアートボードの中に5段の原稿 この状態でPDF書出しすると5段の罫 の外にオブジェクトが無くても、A3 サイズのPDFが書出され罫の外に余白 が出て、サイズエラーとなる。

広告罫について

※原稿に広告事がある場合アートボードサイズの通り事を引き、線の位置を内側し、アウトライン化する。(広告事がいらないものは、アートボードサイズに透明事を引く必要はない)

◆線 グラデーション 透明 *=	◆線 グラデーション 透明 ▼三	
#R#41 : 🔁 3 pt	線磁: 😭 3 pt	
線端: 🖬 🗨 🖿		
角の形状: 📻 📻 🛊 🗴 🛊 10	角の形状: 〒 〒 〒 × 🚺 10	
線の位置	線の位置:	
線分開幕線分開幕線分開幕	線分開幕線分開幕線分開幕	
アートボードサイズ通り罫線を引き、線幅	線を内側に揃える にする。	アウトライン化する。
に数値を入力すると、罫がアートボードよ		
り外にはみ出てしまう、このままPDF書出 」をすると一顆の大さが半分にたる	Illustrator	
してすると、新の人でル十月になる。		

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール





ドキュメントのラスタライス効果設定	ドキュメントのラスタライズ効果設定
カラーモード: CMYK ● 解像度 〇 スクリーン (72 ppl) ● ① 泉水 (150 ppi) ● ● ● 素解金度 (300 ppl) ● ● ● その他: 300 ppi	カラーモード: グレースワール ↓ ● ● パン (72 pp) ● 水学 (150 pp) ● 水学 (20 pp)
	 ・ ・ ・
 フンチェイリアス フリッピングマスクを作成 オブジェクトの周囲に 12.7 mm 追加 	 オブション アンチェイリアス クリッピングマスクを作成 オブジェクトの周囲に 12.7 mm 追加
 ○ 特色を保持 ② Ch-050次Fを支援すると、当体に満用されたグラフィックスタイルとのリンク グ制度もれます。また、RG温祉されていらうスタライズ放発のプピアランスに 差異する全体があります。 	● 特色を保持

カラー原稿

モノクロ原稿

効果→ドキュメントのラスタライズ効果設定を開き カラー原稿はCMYK、モノクロ原稿はグレースケール 解像度を高解像度300ppiに設定する

アウ	トラ	イン作成	ţ

 ●原稿データ上のフォントは必ず全てアウトライン化を行ってください。 アウトライン化を行っていないフォントは文字化けを起こします。
 ※アウトライン化することによりオブジェクトになります。

フォン	F			
最近使	用したフォ	ント		•
サイズ				•
字形				
エリア	内文字オプ	ション		
パス上	文字オプシ	ョン		•
スレッ	ドテキスト	オプショ	ン	•
合成フ	オント			
禁則処	理設定			
文字組	みアキ量設	定		
文字組 選択さ グリフ	みアキ量設 れた文字か レット	定 らグリフ	レットを作	成
文字組 選択さ グリフ ヘッド	みアキ量設 れた文字か レット ラインを合	定 らグリフ わせる	レットを作	成
文字組 選択さ グリフ ヘッド アウト	みアキ量設 れた文字か レット ラインを合 ラインを 作	定 ら グリフ わせる 成	ノレットを作	成
文字組 選択さ グリフ ヘッド アウト フォン	みアキ量設 れた文字か レット ラインを合 ラインを作 ト検索	定 ら グリフ わせる 成	レットを作	成 企 業O
文字組 選択さ グリフ ヘッド フォン 大文字	みアキ量設 れた文字か レット ラインを合 ラインを作 ト検索 と小文字の	定 らグリフ わせる 成 変更	レットを作	成 ①
文字組 選択さ グリフ ヘッド アウト フォン 大文売 の 点	みアキ量設 れた文字か レット ラインを合 ラインを作 ト検索 と小文字の の自動調節	定 らグリフ わせる 成 変更 	レットを作	成… ①೫O ▶
文字組 ジ デ ジ フ マ ウ ト フ ス 文 宗 点 、 道 な び 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	みアキ量設 れた文字か レット ラインを合 ラインを作 ト検索… と小り調 の自動 第 マージン揃	定 らグリフ わせる 成 更 え	レットを作	成…
文字 選 グ リ ッ ド ト フ 大 句 最 御 御 文 字 組 さ で フ 、 ッ ウ ト ン フ 、 、 の い に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	みアキ量設 れた文ト ラインを合 ラインを作 ト検索: と小文調 の自動ジス示 ジス マを表	定 ら グリ フ わせる 成 変更 え	レットを作	成 企業O 下 第I
文字 選 グ リ フ フ 大 句 最 制 御 み 方 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	みアキ量設 れた文ト ラインを合 ラインを合 ラインを作 ト検索:	定 らグリフ わせる 成 変更 え	レットを作	成 企業O ▶ ℃第I ▶

Illustrator

※テキストが未入力のアンカーポイント(フォント)が孤立点として認識されるので注意が 必要です。フォントの孤立点を必ず削除してください。
※4ポイント以下の文字は使用しないでください。
※自抜き明朝体文字は8ポイント以上の文字を使用してください。

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール



色指定

●モノクロ広告の場合はグレースケール。カラー広告の場合はCMYKを使用してください。それ以外のカラーモードは使用しないでください。
 ※スポットカラーは使用しないでください。
 ●単色原稿 ※4色分解(CMYK)データにて入稿してください。

スポットカラー (カスタムカラー)を使っていればここに数値が出る。

選択内容のみ

ドキュメント情報

 カラー カラーガイド × × 100 × × ×	オプションを隠す ✓ グレースケール RCB HSB CMYK Web セーフ RGB 反転 補色			オプションを隠す グレースケール RGB HSB ✓ CMYK Web セーブ RGB 反転 補色	
	新規スウォッチを作成	Illustrator		新規スウォッチを作成	
●モノクロ原稿 グレースケール、モノ CMYK、RGB、スポッ ※モノクロ原稿の場合、 埋込み画像化されます グレースケールに変換	7 クロ2諧調 のみ使用可。 ットカラー(カスタムカラー)は使 透明効果を使った時、透明効果の分 、そのままでは、CMYKカラーのK なる必要がある。(P24参照)	用不可。 }割拡張をした場合、 版使用でエラーとなります。	●カラー・単色原稿 CMYK、グレースケー RGB、スポットカラ− 単色原稿 ※4色分解	・ ル、モノクロ2諧調 のみ使用 −(カスタムカラー)は使用 ≩(CMYK)データにて入肴	问。 不可。 高してください。

パターンの分割・スポットカラー

●Illustrator書類上でパターンを使用している場合は、分割拡張を行ってください。(特色使用のエラーとなります) ドキュメント情報ウィンドウ→「選択内容のみ」のチェックを外し→オブジェクトで確認できます。 その時、フォント使用、指定色以外使用、特色使用(スポットカラー)の確認もできます。



[5]

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール



レイヤー

- ●レイヤーオプションの表示とプリントには、必ずチェックを入れてください。 出力エラーの原因となります。
- ●非表示レイヤー、非印刷レイヤー、ロックレイヤーなどの設定はしない。 複数のレイヤーも一つのレイヤーに統合してください。

レイヤーオプション	
名前: 文字	ОК
カラー: レッド	(キャンセル)
□ テンプレート □ ロック	
🕢表示 🕢プリント	
☑ プレビュー □ 画像の表示濃度: 50 %	

Illustrator

	新規レイヤー 新規サブレイヤー 「文字」を複製 「文字」を削除
0 パ	「文字」のオプション
文字 〇 ラ (1) オブジェクト 〇 ラ (1) 配置画像 〇	クリッピングマスクを作成 / 解除 編集モードを開始 編集モードを終了 オブジェクトの位置
3レイヤー 🕑 4G G 🕲 🦼	選択レイヤーを結合 すべてのレイヤーを結合 新規レイヤーに集める
	レイヤーに分配 (シーケンス) レイヤーに分配 (ビルド) 順序を反転
	テンプレート 他を隠す



●従来のEPSデータと同様にPDFデータもオーバープリントの設定が有効になりますが。 下地にスミノセ・色ノセの設定をしたい場合は、オーバープリントの機能を使うより 乗算の使用をおすすめします。

(オーバープリントは画面上での確認がしづらい) (他の新聞社では、オーバープリントの設定が無効になっていることもある)



Illustrator

 ノセとヌキ
 ◇ノセは下のオブジェクトの色と上のオブジェクトの色が 掛け合わされる。
 (下の地色が上のオブジェクトで切り抜かれない)
 ◇ヌキは上の色だけがいきる。
 (下の地色が上のオブジェクトで切り抜かれる)

※K100% (スミベタ) 以外でカラーのオブジェクトに 対するオーバープリントは設定しないでください。 下にあるオブジェクトの色と掛け合わされ(ノセの状態) 予想外の色になる場合があります。

[5]

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール



●**白オブジェクト、色オブジェクトノセ**について

K100%(スミベタ)以外のオブジェクトにオーバープリントの設定をすると、下地の色に乗って違う色になったり、特にベタ白抜きの場合は消えてしまいます。 スミベタ以外のオブジェクトにオーバープリントの設定をしないでください。

画面上		掲載後	
あいうえおかきくけこ	\longrightarrow		
◆属性 ▼目 ※Dにオーバーブリント ※にオーバーブリント ※にオーバーブリント イメージマップ: なし ◆ ブラウザ URL:			

注意 白のオブジェクトにオーバープリントのチェック を入れると警告が出るのですが、オーバープリン トのチェックが入った黒オブジェクトを白に指定 しても警告が出ません。 ロゴマークなど別のデータから流用する時などは

(特にカラーデータ)注意が必要です。

●画面上でオーバープリントの有無を確認するためには**表示→オーバープリントプレビュー**にチェックを 入れると画面で確認することができます。

		アウトライン	ЖY
画面上	掲載後	マオーバープリントプレビュー ヒッセルプレビュ	で企業Y て業Y
\longrightarrow		校正設定 色の校正	۲
●オーバープリントプレビュー時 画面 ト	掲載後	ズームイン ズームアウト アートボードを全体表示 すべてのアートボードを全体表示 100% 表示	%+ %− %0 ℃%0 %1
あいうえおかきくけこ>	×1 \++ \= (境界線を隠す アートボードを隠す プリント分割を隠す	%1 %ዘ ዮ፠ዘ
● オーバープリントプレビュー にチェックが入って	しない場合	スライスを表示 スライスをロック	
		テンプレートを隠す	☆ ₩W
		定規を表示 アートボード定規を表示 パウンディングポックスを表示 透明グリッドを表示 テキストのスレッドを隠す	#R \\\#R 쇼#B 쇼#D 쇼#Y
		グラデーションガイドを隠す ライブペイントの隙間を表示	7.#C
		ガイド スマートガイド	▲ ¥U
		グリッドを表示 グリッドにスナップ ✔ ポイントにスナップ	¥¥ 公親¥ て親¥
		新規表示 表示の編集	

PDF変換後、アクロバットで開き絵柄の確認、プリフラ イトチェックで白ノセ、色ノセなどは検出できます。

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール

配置素材

●Illustratorに配置できるファイル

Photoshopで作成したPSD,EPS,TIFF形式

モノクロ原稿は**モノクロ2諧調・グレースケール画像**

カラー原稿はモノクロ2諧調・グレースケール・CMYK画像 両方ともRGB画像は不可

アクション リンク アクション リンク リンクを再設定... リンクへ移動 CSERTE CSERTE 1 ÷ オリジナルを編集 リンクを更新 \rightarrow 配置オプション... 画像を埋め込み Illustrator ->-1 →1 B→ _/ Dridge 73 = -

配置した画像データは全て埋込みの処理を行ってください。(PDF-X4の場合はリンク配置でもOKです)

リンクのままPDFを書出すと、チェッカーにはエラーとしては出ないが、意図しない結果(画像が崩れるなど)になる場合がある。

注、CMYKモードで開いたIllustratorファイルにRGB画像を配置し埋込み処理を行うと個々のIllustratorに設定されている、カラー設定で変換され、CMYK画像の埋込み画像となるが 意図しない色になったり、デフォルトのカラー設定では、UCRオーバーのエラーとなる。 必ずCMYK画像で補正・調整された画像を配置し埋込み処理をしてください。(チェッカーやプリフライトで元がRGB画像だったかは検出されない) 配置されるEPS画像はEPS入稿時の条件を満たしていれば問題なし、(本ガイドブックP16~24参照) Illustrator上にIllustratorEPSの配置(ネスティング処理)も不可、(チェッカーやプリフライトでは検出されない)

該当のデータをコピー&ペーストして処理をしてください。



[5]

[5] 原稿の制作 PDF入稿原稿制作ルール



●掲載データ(PDF)のファイル名は、規約にしたがってつけてください。 掲載日、版など、指定が誤っていると掲載ミスの原因となります。 広告主名は、第三者から見ても内容がわかりやすい簡潔なものとしてください。 同一広告主で、複数サイズのデータを入稿する場合は、可能な限り広告主名とサイズが判別しやすいファイル名をつけてください。

ファイル名に使用できる文字は、全角漢字・ひらがな・カタカナ・半角英数字のみ。 ※スラッシュ"/"、および半角カタカナは使用不可

ファイル名の長さ:31バイト以内(拡張子含む)としてください。 ※全角1文字=2パイト ファイル名の最後には必ず拡張子「.pdf」をつけてください。 (拡張子の前にN-PDFはN PDF-X4はX4と付けると区別が付きやすくなります。) ●掲載データ(PDF)のファイルサイズは200MB以下としてください。

フ	ア	1	ル名規約
---	---	---	------

掲載日	刊 名	版名	掲載区分	モード	広告主名	. 拡張子
(半角数字4桁)	(全角1文字分)	(全角1文字)	(全角1文字)	(半角英数2桁)	(14バイト以内)	(半角英字)
(例)0501 (5月1日) ※月極(フリー) 広告は FFFFと指定	朝 刊:朝 セレクト:セ アシタノ:ア カープタイムズ:C その他:他 (別刷りなど)	通西広広東呉県備岡山島そし部東島広北後山口根の版版島版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版版には、ここにに、ここにに	全記突記題記 事字事字 事字事連 の形) 全下突中題挟連 ぞ 変 形	カラー :4C モノクロ:MN 単 色 :1C	●●●●●●●● 00000000000000000000000000000	.pdf

※セレクトの版名は通し版

※ファイル名の例

0110朝通下4CトヨタN.pdf 1205朝広下MN日産X4.pdf 0501セ通下4C中国5dN.pdf FFFF朝備下MN中国5dX4.pdf FFFF朝備下MN中国3dN.pdf など

Ps

写真処理の流れ

画像の取り込み

●印刷物を原稿にすることはモアレなどが発生しやすく、おすすめできません。写真原稿を入力する場合の解像度設定は原寸使用でスクリーン線数の倍が適当です。 カラーの場合220dpi程度の画像を配置してください。2倍に拡大して使用する場合は、スキャナー入力解像度も2倍に設定してください。

※写真原稿をスキャニングする際は新聞印刷のノウハウを持った製版会社などにスキャニングを依頼するのが望ましいと思われます。市販のカラースキャナーなどで スキャニングされる前にぜひ一度ご検討ください。

Photoshopでの画像処理

●RGBモードの原稿を処理するための大まかな手順をあげます。PhotoshopのRGBやLabモードで画像処理を行い、CMYK変換して微調整後に保存してください。



[5] 原稿の制作

新聞印刷と商業印刷の違い

Ps

インキ濃度

●新聞印刷ではインキ量(インキ皮膜)の増減で画像の濃淡を表現するのではなく、インキ量は一定にして網点の大小で表現します。紙面濃度はインキ量で決まりますが、 新聞輪転機は高速印刷のため、再現できる濃度範囲は平台校正機や商業印刷と比べて狭くなります。その影響で、紙面と平台校正ゲラの色あいが違ってきます。

●画像処理で対応

広い濃度域の原稿に対して狭い濃度範囲しかもたない新聞印刷で、いかに調子のある写真にするかが、画像処理のポイントとなります。レベル補正やトーンカーブの 設定で行います。中間調を若干明るくする処理が基本になります。個々の写真に対して、特に重要な濃度域にトーンカーブなどで調子を持たせる場合もあります。右 の図と写真は中間調に調子を持たせるため、S字カーブで処理した一例です。また、左の図と写真はハイライト・シャドーの設定で不要な範囲を切り捨て、再現しよ うとする原稿の範囲を狭めることで調子のある写真にした一例です。掲載サイズにより度合いは違ってきますがハイライト部では、どこまで飛ばせるかを判断して、 最も明るい部分より少し高いポイントで設定します。シャドー部でも同様に、どこまでベタにできるかを判断して、最も暗い部分より少し低いポイントでシャドー点 を設定します。その結果、調子の良い写真となりました。



[5]

[5] 原稿の制作

新聞印刷と商業印刷の違い

Ps

ドットゲイン

●原稿の網点より印刷物の網点が太る現象を「ドットゲイン」といいます。新聞印刷では版からブランケットに |転写するときの印圧によって網点が太ります。新聞輪転機ではドットゲインが中間部分で約20%あり、一般の 商業印刷や平台校正機に比べ網点の太りが大きくなります。 新聞印刷のドットゲインが大きい理由としては、新聞インキの粘度が低く、用紙に浸透させて乾燥する 「浸透乾燥」などもあげられます。









●ドットゲインによる紙面への影響

写真では調子が暗くなり、色が濁ったりします。イラストなどでは網点の大きさで色の濃度を表現するため、1色がベタ、1色が網50%の2次色などで 網のある一方の色だけがドットゲインで濃くなり、色あいが違ってきます。

●画像処理で対応

トーンカーブで元画像(原稿)を新聞印刷に適した明るさ(階 調)の画像に調整してください。調整量は各色網%数値を確認しな がら決定することが基本です。モニター画面で決める場合はモニタ 一の明るさで違いはありますが、基本的に見た目以上に明るく調整 した方が新聞印刷ではうまくいきます。また、元画像(原稿)の調 子もまちまちでそれに応じたトーンカーブ調整も必要です。

自然な写真に仕上げるためにはグレーバランスが大切です。新聞 印刷のプロセスインキは他の色成分を含んでいるのでCMY色が等量 だと赤みのあるグレーとなります。ハイライト部やシャドー部で CMY色のバランスを情報パレットで確認し、調整してください。シ ャドー部ではC70%、M60%、Y60%、K60%程度が良好なグレーバ ランスとなります。イラストなどの色あいは弊社のCMSから出力し たカラーパッチなどを参考にして網%を決めることも一つの方法で す。



Photosopのトーンカーブ調整(例)

※この画面はあくまで例であり原稿ごとに処理が違ってきます

【1】トーンカーブ 修正前





CMYK

250%

Y

[5]

[5] 原稿の制作

新聞印刷と商業印刷の違い



インキ総量

- ●カラーでは4色のインキが刷り重ねられることをトラッピングといいますが、インキの総量(網%)が多くなると転移が悪くなり、良好なトラッピングが得られなくなり、色再現に影響します。また、余剰インキが対向面や新聞の余白部分、裏写りをおこし紙面を汚したりします。商業印刷のインキ総量は300%を超えていますが新聞印刷では250%に制限しています。
- ●UCRとはトラッピング不良を抑え、グレー再現を安定させたり、過度のインキが対向面を汚すことを防止する ため、CMY色が重なっているグレー部分を墨インキに置き換えることです。

●画像処理の前にあらかじめカラー設定しておくことで対応

UCR設定はカラー設定の作業用スペース(CMYK)で行います。カスタムウインドウの色分解オプションを参考 にして「インキの総使用量」を250%に、「黒インキの制限」を65%程度にしてください。設定後はCMYKに変 換するだけで250%(インキ総量)に設定できます。

※インキ総量を調整する必要がある場合はシャドー部のグレーバランスに注意してください。



※すでにCMYK画像でUCRオーバーになっている場合は 特定色域の選択→ブラック系を使って調整してください。

TAC(Total Area Coverage) …インキの総使用量

Κ

マニュアル

設定

С

●網点面積率

С

CMYK

400%

Y

Μ



グレーバランスを崩さない様、CMYを同量ずつマイナス 方向に調整し、K版は減らさない。



[5] 原稿の制作

画像解像度

●画像は掲載サイズの実すで解像度が200ppi程度の画像データを配置してください。

推奨画像解像度は	カラー (4色) 画像	象:165~220ppi
	モノクロ(1色)画像	ጲ:140~185ppi
	ビットマップ(2階調)画像	ጲ:600ppi~1200ppi

※それ以上の解像度は、データを重くするだけで紙面には反映されません。

イメージレイヤー	選択範囲	画像解像度
 モード 色調補正 自動トーン補正 自動コントラスト 自動カラー補正 	▶ ひ第L ℃分第L ①第B	ビクセル数:ファイルサイズ 502.4K (変更前は 1.50) 幅:439 pixel + 高さ:293 pixel +
 画像解像度 カンパスサイズ 画像の回転 切り抜き トリミング すべての領域を表示 	۲ ೫۱ ۲೫C ►	ドキュメントのサイズ: 幅: 55.73 mm 高さ: 37.16
複製 画像操作 演算		解像度: 200 pixel/inch →
変数 データセットを適用 トラッピング		 ✓ 画像の再サンプル: バイキュービック法(滑らかなグラデーションに最適)

●画像トリミング、拡大・縮小について

アタリ画像ではなく適切にトリミングした実データ(実寸)を配置してください。 マスクなどで隠れた部分が大きい配置画像はデータを重くします。 画像は掲載サイズの実寸で配置してください。 Illustratorに配置後の画像の拡大縮小は、pixel数が保持されるため解像度エラーになる場合があります。

例:画像解像度200ppiのデータを50%縮小で配置 → 最終(版面) 解像度は400ppi

※Illustratorで画像を配置後、Photoshopで画像解像度やサイズを調整すると、トリミングや拡縮率が 変化する場合があります。Illustratorで一度配置画像を削除し、再配置してください。

[5] 原稿の制作



イメージモード

カラーモード(データをCMYKで処理する場合)
 CMYKモード ※RGBは厳禁
 画像解像度 165~220ppi

イメージ レイヤー	選択範囲	フィルタ ビュー ウィ
モード	•	モノクロ 2 階調
色調補正	•	グレースケール ダブルトーン
自動トーン補正	ዕ羰L	インデックスカラー
自動コントラスト	τôжι	RGB カラー
目動刀フー相止	0 # B	✓ CMYK カラー
画像解像度	781	Lab カラー
カンバスサイズ	Σ₩C	マルチチャンネル
画像の回転	•	✓ 8 bit/チャンネル
切り抜き		16 bit/チャンネル
トリミング すべての領域を表示		32 bit/チャンネル
複製		カラーテーブル
画像操作		
演算		
when WZ		
変数 フロトロート 本海田	►	
テークセットを週用.		
トラッピング		

●モノクロ2階調モード(□ゴを貼り込む場合) 画像解像度 600~1200ppi

イメージレイヤー	選択範囲	フィルタ	ビュー	ウー
モード		✓ モノクロ	12 階調	
色調補正		グレース	ケール	1
自動トーン補正 自動コントラスト 自動カラー補正	公第L て ひ 第L 公第B	タフルト インデッ RGB カラ CMYK ナ	・- シ ・クスカラ ラー コラー	-
画像解像度 カンパスサイズ	て第1 て第C	Lab カラ マルチチ	ー ヤンネル	
画像の回転 切り抜き トリミング すべての領域を表示	•	8 bit/チャンネル 16 bit/チャンネル 32 bit/チャンネル		
複製 画像操作 演算		カラーテ	ーブル	-
変数 データセットを適用	•			
トラッピング				

	EPS オブ	ション	
プレビュー	Macintosh (1 bit	/pixel)	• Ск
エンコーディング	": パイナリ		+ ++>
	☑白色部分を透明と	:して扱う	
	Photosho	n 5 0 2 1	
	1 110103110	ρ J.U.2J	
	EPS オプシ	ョン	
プレビュー:	Macintosh (1 bit/p	oixel)	OK
エンコーディング:	ASCII85	÷	(キャンセル)
☑ 白色部分を透明	として扱う		
📃 画像補間方式			

Photoshop CS4

グレースケールモード(データをモノクロで処理する場合) 画像解像度 140~185ppi

イメージ	レイヤー	選択範囲	フィルタ	E1-	ウィ		
モード		•	モノクロ	2 階調			
色調補正		•	✓ グレース ダブルト	ケール			
自動トーン 自動コン 自動カラー	∨補正 トラスト −補正	<mark> </mark>	インデックスカラー RGB カラー CMYK カラー Lab カラー マルチチャンネル				
画像解像 カンバス	度 ナイズ	ご第1 ご第C					
画像の回 り 切り抜き トリミン? すべての令	画像の回転 切り抜き トリミング すべての領域を表示		 ✓ 8 bit/チャンネル 16 bit/チャンネル 32 bit/チャンネル 				
複製 画像操作. 演算	•		カラーテ	ーブル	-		
変数 データセン	ットを適用.						
トラッピ:	ッグ	17					

※モノクロで階調のあるロゴやカラーのロゴはIllustratorでトレースした アウトラインデータ(Illustrator EPS)を使用してください。

※モノクロ2階調の場合はビットマップデータでも構いません。 必ず**原寸**、または**縮小**を使用してください。

※背景を生かしたい場合は、EPSファイル保存時に"白部分を透明として扱う"に チェックを入れてください。

※エンコーディングはPhotoshop7.0以下はバイナリ、CS以上はASCII85

[5]

Ps

[5] 原稿の制作

PhotoshopEPS保存

●配置画像の形式

配置画像のファイルはEPS形式で保存してください。 アタリ画像ではなく**適切にトリミングした実データ(実寸)**としてください。

ブレビュー	Macintosh (8 bit/pixel)	(±	
エンコーディング	: パイナリ		<u> </u>
())->->	 クリーンを含める		
●トランスファ関	数を含める		
□ ホストスクリノ □ ベクトルデータ	トカフーマネンメント を含める		
回画像補間方式			

チェックを入れない Photoshop 7.0J 6.0J

プレビュー: Macintosh (8bit/pixel)

エンコーディング:7.0J以下はバイナリ CS以上はASCII85 ※まれにバイナリ保存した画像に透明効果を使用すると消失する事例あり。 ※EPS-JPEG(最高画質 最低圧縮)でも可(ただし再保存ごとに画像が劣化する)

ハーフトーンスクリーン: チェックを入れないトランスファ関数: チェックを入れないポストスクリプトカラー管理: チェックを入れないポストスクリプトカラーマネージメント: チェックを入れない (6.0以上)画像補間方式: チェックを入れない (6.0以上)



チェックを入れない PhotoshopCS4

[5] 原稿の制作

Ai

複雑な図形やマップなどの画像化

●余りにも多いオブジェクトや複合パスなどがあると、プリフライト上でエラーが無くても、弊社PSチェッカーでRIPタイムアウトを起こし入稿不可 となる事があります。 複雑な図形やマップなどはイラストレータ上でラスタライズ処理で画像化するか、フォトショップで画像化し配置し直してください。



プレビュー時

アートワーク時

ラスタライズ	
カラーモード: CMYK ~ 解像度: 高解像度 (300 ppi) ~ 背景 ◎ ホワイト	―――― カラーの時はCMYK モノクロ時はグレースケールを選ぶ ――― 解像度は300ppi程度 文字などが含まれる場合はさらに高めにする
● パワイト○ 透明	
オプション アンチエイリアス: アートに最適 (スーパーサンプリング) ~ ① □ クリッピングマスクを作成 オプジェクトの周囲に	
 特色は、ラスタライズ時に保持されません。 キャンセル OK 	
	Illustrator

Ai

.

.

[5] 原稿の制作 PDF書出しする前に (N-PDFのみ)

透明効果の分割統合

●N-PDF方式は、ぼかしやドロップシャドウなど透明効果には対応していません、N-PDFのPDFプリセットで書出せば分割統合されるようなのですが、RIPメーカーの話によると その過程で意図しない物(部分的に欠けたり、崩れたりする)になる可能性があるので、書出し前に透明効果の分割統合を行う必要があります。(チェッカーやプリフライト で先に分割統合してPDF書出ししたのか、書出しで分割統合されたのかは区別はつかない)モノクロ原稿は必須です。 オブジェクト 書式 選択 効果 表 注、一度**分割統合**をするとその部分は画像化され変更できなくなるので、各制作会社は**分割統合**前の最終AIデータを保存しておいてください。 変形 重ね順 2.透明部分の画像化

1.透明オブジェクトが使用されている場所を特定する。



[5] 原稿の制作 PDF書出し・プリフライトチェック

PDFの書出し



●PDFを書出したらAcrobat Proで最終入稿用PDFを開き、絵柄の確認・プリフライトプロファイルを用いてチェックを行う。

マドパンフト ウィンドウ Aルプ				
		必須 ▼	カラー単色専用	モノクロ専用
アクセシビリティ ト				
電子署名 ▶			exec	exec
セキュリティ ト				
セキュリティ設定		 ▶ PDF フィックスアック ▶ PDF 解析 		
信頼済み証明書		▶ PDF/A 準拠		
Adobe Reader で拡張機能を有効にする		▶ PDF/UA 準拠 ▶ PDF/X 準拠	N-PDF2012v1.37	N-PDF2012v1.3モ
	\rightarrow	▶ デジタルプリンティングおよびオンラインパブリッシング	ラー単色.kfp	ノクロ.kfp
印刷工程		▶ プリプレス ▼ 取り込まれたプロファイル		
墨消し ▶		Ø № N-PDF2012カラー単色		
文書処理 ▶				
Web Capture		◎ ♪ PDFx4中国新聞モノクロ用2019		
			PDFx4中国新聞力	PDFx4中国新聞于
PDF の最適化			ラー用2019.kfp	ノクロ用2019.kfp
		▶ その他のオプション ● 第4 30 解析してフィックスアップ		
			Acrobat用プリフ	ライトプロファイル
Acropatuc はツールを開さ→印刷上程をクリッ	/ク →フリノフ1ト を選択	プリフライトウィンドウ内にPOSで取し込んだ		
Acrobat10は 編集→フリフライト を選択	Acrobat Pro	ノリノノコトライノトラア形にFUOと取り込化に ゴリコニノトプロコーノルも認識化も方用した		
Acrobat9 はアドバンスト→プリフライトを選掛		ノリノフ1 トノロノア1 ルを選び解析をクリツク		

[5] 原稿の制作 PDF書出し・プリフライトチェック



PDFのプリフライト

●プリフライトチェック結果



プリフライトでエラーがなかったもの 仕上がりサイズの確認も行う

プリフライトでエラーが検出されたもの エラー項目を確認する



[5]

PDFのプリフライト モノクロ原稿のみ

Acrobat Pro

●モノクロ原稿でドロップシャドウやぼかしなど透明効果を使い、分割拡張やモノクロ変換をせずにPDF保存した時のプリフライト結果で「<mark>黒以外のカラーが使用されています</mark>」 のチェック結果が出た場合について。(特にPDF-X4は分割拡張しないため)





[5] 原稿の制作 PDF書出し・プリフライトチェック

モノクロ原稿のみ

PDFのプリフライト

印刷工程ツールパーを表示

AcrobatDC はツールを開き→印刷工程をクリック→

Acrobat10 は表示→ツール→印刷工程→出力プレビューを選択

Acrobat9 はアドバンスト→印刷工程→出力プレビューを選択

出力プレビューを選択

●Acrobat Pro上での分割拡張でカラー化した物か、実際にカラーのオブジェクトなのかを見つける方法(100%見つかるとは限らない)

サンプルサイズ: 指定したビクセル

透明の変換用カラ-スペース: なし

ページの背景色を設定

■ 領域全体をカバー ■ 250 ■ %

部分に指定の色が付く

P26の続き



TRADIDUUM INTERNAL-BARRENDERBERTER INTERNET BERRENDER INTERNET

数値を250にしチェックを入れると画面上の250%をオーバーしている

●プリフライトチェック・UCRに問題がなければ 絵柄の確認をし(崩れや抜けがないか) 良ければ、最終入稿用PDFの完成です。 そのままAcrobat Proから最終入稿用PDFをプリン トアウトしたものを、最終の念校ゲラとしてください。 [5]

左右

[5] 原稿の制作



天地

●本紙雑報広告 刷寸

スペース

9段

10段

331mm

371mm

原稿サイズ

●デジタル入稿での原稿制作サイズは、**カラー、モノクロ、単色ともに共通**です。 2019年9月より原稿制作サイズは刷寸となりました。 旧サイズ 組寸からの入稿も可能です。(縦横変倍がかかります) (一部雑報などで小さなサイズの物は縮尺制限を超えサイズエラーとなる可能性があります)

●本紙記事下広告 刷寸

7~-7	王地				左	右				昭今て	一面	66mm	33mr	n										
	入地	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/8	ワイド	超子♪	地方版	83mm	18mr	m										
1段	32mm				키ㅎㅗ	一枠	40mm	70mr	n															
2段	66mm									記争屮	1/2枠	40mm	35mr	n										
3段	101mm									突出	:L	83mm	50mr	n										
4段	135mm																							
5段	170mm	-																						
6段	204mm				●タブロイ スペース	コイド版																		
7段	239mm	-																			スペース	マン 天地		
8段	273mm	378mm	['] 8mm 188mm 124mm 93mm 74mm 61mm 46mm 781mm	188mm 1			1/1	1/2	ワイド															
9段	308mm	-								1段	33mm													
10段	342mm									2段	71mm													
11段	377mm									3段	108mm													
12段	411mm	-								4段	145mm													
13段	445mm	-	nm								5段	182mm		121mm	508mm									
14段	480mm									6段	219mm													
15段	514mm	-												7段	257mm									
										8段	293mm													

※変形広告、タフロイド版の雑報広告、その他の広告サイズにつきましては、事前にお問い合わせください。 ※セレクト記事中・題字横は、通し版記事中と同サイズ。

※制作されたサイズと原稿サイズに差異が生じた場合、天地左右両辺において、変倍がかかり掲載されることがありますので、データ制作の際はご注意ください。

[5]

[6]入稿前の準備



入稿ファイルの整理

●デジタル入稿の場合、原稿を取り違え防止のため、**1つのCDに1つの原稿データのみを保存**してください。 ※**不要データは、絶対に保存しないでください**。



[6]

●ウイルスチェック、記入事項



[6]入稿前の準備

■備 考: EPS・N-PDF・PDF-X4

ラベルの記入項目

[6]

Ai Ps

[7]入稿前の最終チェック

Ollustrator & Photoshop

入稿前に以下のチェック項目をもう一度ご確認ください

項目番号	チェック	チェック項目	参照ページ
01		サイズを確認したか。	P09
02		IllustratorとPhotoshopの色指定を正しく設定したか。(RGBは使用していないか。)	P11
03		フォント(フォントのアンカーポイントも含めて)は残っていないか。	P10
04		スポットカラーが残っていないか。	P11
05		孤立点は全て削除したか。	P10
06		ICCプロファイルを外したか。 (Photoshopのみ)	P22
07		UCRは250%以下にしたか。 (カラーの場合のみ)	P19
08		画像の解像度は適切にしたか。 (Photoshopのみ)	P20
09		透明効果など分割・拡張したか。(N-PDF透明効果使用時のみ)	P25
10		全てモノクロ変換したか。(モノクロ原稿の時のみ)	P26
11		規定のPDF設定でPDF書出ししたか。	P25
12		Acrobat Proで開きプリフライトチェック、UCR確認 (ヵヮー原稿のみ)をしたか。	P26

●CMSカラープルーフ

[8]カラーの事前確認

●中国新聞社では、色見本にCMS(Color Management System)から出力したカラープルーフを使用します。

カラープルーフの色あいは新聞紙面と近似しており、本入稿前の事前確認を利用することで新聞紙面での再現を事前に把握することができます。ぜひご活用ください。

事前確認

●希望により前もって広告会社での色味の確認も含めて、掲載日4~5日前までに入稿データの事前確認を行います。 ※カラー、単色広告のみ

- ●色あいの確認用として新聞社のCMSでカラープルーフを出力します。
- ●CMSより出力されたプルーフは、実際の印刷の色見本として使用します。
- ●CMSは、擬似的に輪転機印刷を再現したものです。ルーペなどで観察しても正確な色は見られません。 通常の距離から標準的な光源の下で色あいの確認を行ってください。
- ●従来までの平台校正ゲラは、新聞輪転機の印刷再現領域を超えた色あいを表現しており、実際の紙面を想定したものとして評価すると、 誤解を招く恐れがあります。
- ●ご要望があれば、画像処理などのアドバイスを行います。また、画像補正のご希望がありましたら、お問い合わせください。

※事前確認のご利用にあたっては、デジタル入稿された広告が条件となります。

ワークフロー

1. 受付 掲載CDデータとデジタル入稿確認書を持参してください。

2. データチェック

本入稿時と同様に掲載データのチェックを行います。

3. カラープルーフ出力

色あいの確認用プルーフとして一掲載1~3枚まで出力します。データ修正後の追加出力や、本入校時の出力も含めて5枚まで 無料で出力します。6枚目以上は有料とします。

4. 引渡し

CDデータとカラープルーフをお渡しし、データチェックの結果報告を行います。 広告会社からご要望がありましたら、画像補正などのアドバイスや処理を行います。お問い合わせください。

[9]入稿

●入稿ファイルの整理

念校ゲラについて

●カラー広告、モノクロ広告ともに、**念校ゲラ**(最終入稿用PDFから出力)を1枚添付してください。

●念校ゲラには、必ず 掲載日、刊名、版名(掲載エリア)、広告主名、掲載サイズ、色指定、広告会社名を明記してください。 ※初回掲載のデータ入稿時に同一月内で複数の掲載日が決定している広告の場合、掲載日ごとに念校ゲラをご用意ください。

※月極(フリー)広告の場合、掲載日は掲載可能な期間を念校ゲラに明記してください。
 ※データの訂正(改稿)後再入稿される際は、念校ゲラに改稿部分をマーカーで明記してください。
 ※データ入稿前に必ず広告の審査を済ませ、念校ゲラに"審査済み"であることを記載してください。
 ●カラー広告をデジタル入稿する場合、中国新聞社へ色見本(本紙校正)の持ち込みの必要はありません。

デジタル入稿締切

●モノクロ・カラー広告全て、掲載日2日前 正午までに入稿してください。 ※詳細はP04参照

※入稿トラブルが予測されますので、なるべく早めの入稿をお願いいたします。

入稿ファイルの整理

●すべての準備ができましたら、CD、デジタル入稿確認書、念校ゲラを一緒に入稿してください。



※入稿前にすべての項目をいま一度ご確認ください

※中國新聞社 http://www.chugoku-np.co.jp/							
〒730-8677	広島市中区土橋町7番1号						
	地域ビジネス局営業部 広告編成チーム	☎ (082) 236-2211 ☎ (082) 236-2203	FAX FAX	(082) 236-2216 (082) 236-2220			

2022年 2月発行 第1.8版

中国新聞備後本社	〒720-0065	福山市東桜町12-5		2 (084) 923-1717	FAX (084) 923-5121
中国新聞防長本社	〒753-0072	山口市大手町3-6 大手町ビル	/3F	a (083) 976-8222	FAX (083) 928-6719
東京支社	〒100-0011	東京都千代田区内幸町2丁目2-1	日本プレスセンタービル2 F	a (03) 3597-1611	Fax (03) 3597-8468
大阪支社	〒530-0003	大阪市北区堂島2丁目1-43	紀陽ビル5F	a (06) 6453-2871	Fax (06) 6453-2896
呉支社	〒737-0051	呉市中央2丁目1-1		a (0823) 22-5527	FAX (0823) 22-5528
東広島総局	〒739-0016	東広島市西条岡町5-7		a (082) 422-2911	FAX (082) 420-0124
福岡支局	〒810-0002	福岡市中央区西中洲12-33	福岡大同生命ビル12F	a (092) 741-5876	Fax (092) 741-9032

Adobe、Adobeロゴ、PostScript、PostScriptロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。 QuarkXPressはQuark, Inc.の登録商標です。 その他全ての製品名またはブランド名はそれらの所有者の商標または登録商標です。